

**ニシン復活を
目標に!**

5月30日、ひやま地域ニシン復興対策協議会主催によるニシンの稚魚放流式が上ノ国漁港において執り行われました。上ノ国の海にニシンを復活させることを目標に毎年行われているこの行事ですが、今回も上ノ国の前浜で漁獲されたニシンの卵を用いており、少しずつですが確実に上ノ国の海に帰ってきているようです。

放流式には漁業者や上ノ国保育所の年長児も参加し、この日は約4万尾の稚魚が放流されました。



**災害時の
協力体制を構築!**

6月10日、役場研修室において本町と函館地方石油業協同組合(和田善助理事長)の間で、「災害時における石油燃料の供給等に関する協定」の調印式が行われました。

これにより、災害が発生した場合、避難所や医療施設などへの迅速な給油支援が受けられるようになるほか、給油所の休憩所利用や物資提供など、災害時の救命に直結する内容となっています。

このほか、5月27日に有限会社ステップ及び株式会社共成レンタム北檜山営業所とレンタル機材に関する協定を結んでおります。

自立に向けて!

6月12日から13日にかけて、上ノ国高校2年生24人による職場体験学習が実施されました。この体験学習は、実際の「職」に触れることで、自分の将来について深く考える機会を得ることを目的に毎年行われているものです。

町内外の19事業所を訪れた生徒たちは、実際に様々な仕事に触れ、刺激を受けている様子でした。

職場体験学習を終えた生徒は「将来就きたい仕事について学ぶことができました」「慣れないことで戸惑いもありましたが、目標に向かってこれからも頑張ります」など、将来を真剣に考えていました。



浜をキレイに美しく!

6月5日、町婦人防火クラブ(品田俊子会長) 主催による海岸清掃が大崎から大安在にかけて行われました。

婦人防火クラブ会員と消防署職員合わせて32名が参加した今回のボランティア活動では、1時間余りで約200kgのゴミを回収し、海岸に捨てられたゴミが一掃されました。

回収されたゴミは、沿道付近から捨てられたペットボトル類や漂着物が多く見られました。海岸付近を訪れる方はマナーを守り、ゴミを出さないようにしましょう。

